

第21回 ヒロシマ国際ハンドボール大会 記録用紙 ・ 1

スローオフチーム: A, BのどちらかにO印を記入

A	WAKUNAGA	CHN	(B)
---	----------	-----	-----

大会名	HIRISHIMA INTERNATIONAL GAMES 2016		試合コード	W01
開催日	2016. 7. 22	time	19:20	
会場	HIRISHIMA HIGASHI-KU SPORT CENTER			
DIV	WOMEN	観客数	573	人
第 1 日				

29	(19	-	10)	23
		10	-	13		

確認・サイン
A

中山 真大

※役員欄にA~Dを記入

確認・サイン
B

Zvonarek N

※役員欄にA~Dを記入

A	WAKUNAGA	警告	退場	失格	チームタイムアウト		
					前半	後半	合計
役員A	Tsuyoshi Nakayama					6	40
役員B	Yuichi Sugiyama						
役員C	Masashi Kameshima				7mスロー		
役員D	Kanji Wakunaga				前半	後半	合計
役員E	Tadashi Saito				得点	-1	T2 3
役員					ミス		*
役員					得点		
合計					前半	後半	合計
2	Ryota Tanimura	/			-1	T2	3
3	Takamasa Matsumoto	/			-1	-1	2
6	Hiroki Nomura				2	5	5
8	Tatsuya Ogano	/			T2	-1	3
9	Tomohito Sato				F4		4
10	Ryuto Inage	/					
11	Michihito Yada						
12	Kotaro Ito						
13	Kenya Hara						
14	Masatoshi Nihei	/			T2	T2	4
15	Akihito Imai						
17	Takayuki Koyasu						
18	Shigetaka Nakaura						
19	Ryosuke Niina				-1		1
20	Kousei Ogawa						
22	Ryota Ogihara					T2	2
23	Fukuda Shota					T2	2
7	Agarie Taiki				F3	T2	5
オウンゴール					-	-	-
合計					19	10	29

B	CHN	警告	退場	失格	チームタイムアウト		
					前半	後半	合計
役員A	ZHANG XIAOMIN				17	23	24 39
役員B	ZVONAREK NENAD						
役員C	JIA SHUJUN				7mスロー		
役員D	WANG JIANGUO				前半	後半	合計
役員E	QIAN HONG				得点		
役員F	YE QIANG				ミス	-1	/
役員					得点		
合計					前半	後半	合計
1	XU CHANG						
4	ZHANG JIAWEI	/			F3	25	8
6	ZHAO CHEN						
7	XU YIFEI						
12	WANG QUAN						
16	ZHANG SHUAI						
17	WANG WEIQIANG						
18	ZHAO NAN					T2	2
20	GU YANCHAO	/			-1	-1	2
21	LIU JIANG	/			*	T2	2
28	LI AN		X		-1	-1	2
30	HAO KEXIN				T2		2
31	ZHOU XIAOJIAN				F3	T2	5
32	YAN LIANG		X				
オウンゴール					-	-	-
合計					10	13	23

タイムキーパー サイン *吉岡真大*

スコアラー サイン *中田美穂*

派遣リーグ委員 サイン *...*

サイン

マッチバイザー サイン *高俊文*

マッチバイザー サイン *森山 達*

審判 サイン *河合 威彦*

審判 サイン *...*

特記事項:

戦評用紙 2

大会名	第 21 回ヒロシマ国際ハンドボール大会
期日	2013 年 7 月 22 日
会場	広島市東区スポーツセンター
開始時刻	19 : 30
種別	男子
対戦チーム	中国江蘇省対湧永製薬

戦評

豪快なシュートの打ち合いで始まったこの試合、素早いボール運びでディフェンスの隙間を狙いシュートを決める湧永と、高さを生かしロングシュートや頭の上を通すポストパスで得点を重ねる江蘇省といった図式で進行していく。7-6 の湧永リードの前半 15 分頃、湧永の鋭いカットインに対し、江蘇省 4 番チャーウェイが反則のため退場。これをキッカケに湧永が連続得点し、前半 25 分頃には点差を 8 点まで広げる。このまま流れは変わらず 10-19 の湧永リードで前半を終えた。

後半序盤、落ち着いた江蘇省、ロングシュートを警戒し高めでディフェンスを仕掛ける湧永に対し、ポストを絡めた粘り強い攻撃を続ける。しかし、常に退場者を抱え 5 人での攻撃が続き、後半 15 分で 17-24 の 7 点ビハインドとする。終盤は、そのまま江蘇省は点差を詰めきれず試合は 23-29 で湧永製薬が勝利を取めた。

広島大学ハンドボール部 竹原 溪吾